

令和5年6月13日

令和5年度 第1回 大阪府立東住吉支援学校 学校運営協議会 実施報告書

大阪府立東住吉支援学校
校長 甲斐 俊夫

日時	令和5年6月9日(金) 午後1時30分～午後2時30分
場所	大阪府立東住吉支援学校 調理室
委員	五位塚和也 船戸正久 北畠正寛 羽室剛 藤坂美穂 小山真澄
学校	甲斐俊夫(校長) 坂田享介(准校長) 植野耕司(教頭) 造田明德(教頭) 澤 功(事務長) 萬井俊治(首席) 蔵本真澄(首席) 池田浩明(首席) 中尾葉子(首席)
議題	(1) 会長・副会長選出 (2) 令和5年度学校経営計画について (3) 質問及び意見聴取協議 (4) 今後の予定について
協議要旨	(1) 会長・副会長選出→会長は五位塚 和也様。 副会長は藤坂 美穂様。 (2) 学校経営計画について→1. 目指す学校像 2. 中期的目標については昨年度承認。 両部門の今年度の取組内容を抽出して説明。 【質問及び意見聴取】 ・GIGA構想のメリット、デメリットと端末の取り扱いについて →児童生徒の実態に応じてリテラシーをどこまで指導できるかは課題であるが、今後の教育活動にとってICTは不可欠。Wi-Fiもほぼつながるが今後もさらに充実させていく。 訪問籍の児童生徒とオンラインで交流できるようになった。 壊れた時は保険対応できるので、安心して児童生徒も使っている。 使用方法は児童生徒の習熟度で変わってくる。 管理については各学部単位で保管活用しており、困り感等は特にない。 教員用のiPadは未整備である。 ・アルバイトについて →積極的に進めているわけではないが、禁止とは明示していない。卒業後、アルバイトで経験を積んで就労していくケースもある。資格をとるケースもある。 ・働き方改革を進めていただきたい。 ・キャリアプランニングマトリックスの金銭の扱いについて、最近「見えないお金」(課金、ネット、クレジットカードなど)の課題がある。卒業後に向けて現実的な課題をもっと盛り込んでいってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度起きた「校外への飛び出しについて」「外部不審者侵入について」「給食の異物混入とアレルギー事故について」「スクールバス出入り口の鍵かけ忘れについて」の危機感について。 →きっちりと子どもの引継ぎをしていく。出られそうな場所の再チェック。大きな事故につながらないようにヒヤリハットで共有していく。不審者については、受付員がいない出勤時間内に起きたことで、教職員による素早い対応ができた。 ・避難訓練時、肢体不自由棟からグラウンドに避難する際にスロープが狭すぎるため渋滞が起きていた。 →教育庁への施設設備の改修を伝えていく。 <p>(会長より) ICT 機器利用のスキルアップに期待する。機器活用のスキルアップと学習活動の利用の2本柱で進める。新年度、事故トラブル対応について、マンパワーだけでなく物理的環境の改善も必要。</p> <p>全員、令和5年度学校経営計画について、承認する。</p> <p>(3) 今後の予定について 第2回は11月頃、第3回は2月頃で実施する。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 学校経営計画および学校評価 (肢体不自由教育部門 知的障がい教育部門) ・児童生徒の「キャリアプランニングマトリックス (キャリア発達段階・内容表) (肢体不自由教育部門 知的障がい教育部門)
備考	傍聴者【 0 】名